

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		Delight 帝塚山教室		公表日		2025年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		比較的、㎡数の広い場所を賃貸している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		低年齢児の利用が多い曜日については、職員配置数を多くするなど、工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、居室内の清掃を心掛けてる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	オープフロアのため、個別の部屋等の設置はしていないが、必要であれば相談室当を使用している。	簡易的な個別フロアを作成する必要があると思っており、検討していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを実施し、スタッフ間で共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全スタッフミーティングを実施しており、ミーティングでは現状の課題を共有するようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、第三者評価や外部の機関に依頼していくよう検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上に掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各スタッフに共有し、誰もが同じ支援ができるよう、情報共有を心掛けている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共通のアセスメントツール・日報等を使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムについては、その日のスタッフでミーティングを実施し、決めている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		17番と同じく、ミーティングを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の出勤しているスタッフ間で終礼を実施し、出れないスタッフには、共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング会議を毎月実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援が付いている場合は、参画するようにしているが、セルフの利用児が多い状況。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ケースによっては連携して行っているが、こちらから積極的にという訳ではない。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		サポートブックの作成など、保護者のニーズがある場合は、作成しており、場合によっては、カンファレンス等への参加もしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援内容の共有はしているが、積極的にこなっている状況ではない。	保護者のニーズがある場合は、共有しているが、今後は、こちらから保護者に対しアプローチしていくことが必要と考えている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		近隣に児童発達支援センターが無い状況。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域との交流は殆ど機会がない。	地域のお祭り等の案内をする程度のため、こちらから積極的に交流が設けられるようにしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		月1回レポートを提出している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者勉強会の実施はしているが、参加率が低く、もっと発信していく必要があると思っている。	勉強会だけでなく、交流会など参加しやすい内容など工夫が必要と思っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者勉強会は実施しているが、父母会等は設置しておらず、地域の保護者会の案内をしている状況。	父母会の設置等も含め検討していく。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	通信等については発信しておらず、個別に案内している状況。	SNSやHPを活用した案内ができるよう、システム構築をしていく予定にしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	行事等の開催がなく、招待することがない。	今後は、地域のお祭り等への参画等も検討していきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	健康調査票を年1回配布し、更新している。		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	おやつ提供がないため、医師の指示書はいただいているが、健康調査票にアレルギー等の記入をしてもらっている。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	連絡網アプリを使い、事前に台風や悪天候への呼びかけ等の周知している。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	全教室のヒヤリハットを集め、各従業員が閲覧できるようにしている。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	身体拘束及び虐待防止委員会を設置し、委員会内で様々な協議をしている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束及び虐待防止委員会を設置し、委員会内で様々な協議をしている。			